



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.83  
2017年 6月号

公益財団法人  
School Aid Japan  
〒144-0043  
東京都大田区羽田 1-1-3  
TEL: 03-5737-2773  
FAX: 03-5737-2793  
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

## レモングラス定植開始！！

皆さんこんにちは。今月 SAJ Farm はレモングラスや野菜の作付け準備で大忙しです。いつもよりも作業が増えるだけではなく、雨により作業が中断することもあるため、天気とにらめっこをする日々が続きます。今月の報告は、レモングラスの定植の様子と、新規契約農家さんについて、また野菜の作付け状況についてお伝えしたいと思います。



レモングラスの苗を作る様子



レモングラスの定植の様子

### ◇レモングラス定植開始

6月に入り SAJ Farm ではレモングラスの定植を開始しました。3年経った古いレモングラスの株をクワで掘り抜き、根から20~30cmぐらい残して切断します。切断後上部の葉は精油やお茶の原料として使い、残った株の根の部分は、根元の部分でくっついているため手で分けます。分けた株は枯れた葉を取り除き、根の部分を1cmほど残して苗にします。1つの大きな株から約50個の苗を作ることができます。そして苗を植える前に畑を一度トラクターで耕します。土を柔らかくして苗を植えやすくし、苗が根付きやすくするためです。土が固いと苗が深く挿せず、直ぐ倒れてしまい枯れてしまいます。苗は樽に入れて畑まで運び、50cm×80cmの間隔で植えます。50cmごとに印のついた紐を畑の端から張り、その80cm横に同じ50cmごとに印のついた紐を張ります。印のついた場所に苗を2~3株植えずすべての印の場所に苗を植えたら、植えた場所から80cm横に紐をずらし再び苗を植えます。これを畑の端から端まで繰り返して畑約1haに苗を植えます。苗を定植した後も、雨風で苗が倒れてしまえば立て直し、苗が小さいうちは雑草に負けてしまうため、株と株の間をクワで除草します。定植から3~4か月後には大きくなり収穫できるようになります。レモングラスの苗が真っ直ぐ大きく育つことを願っています。





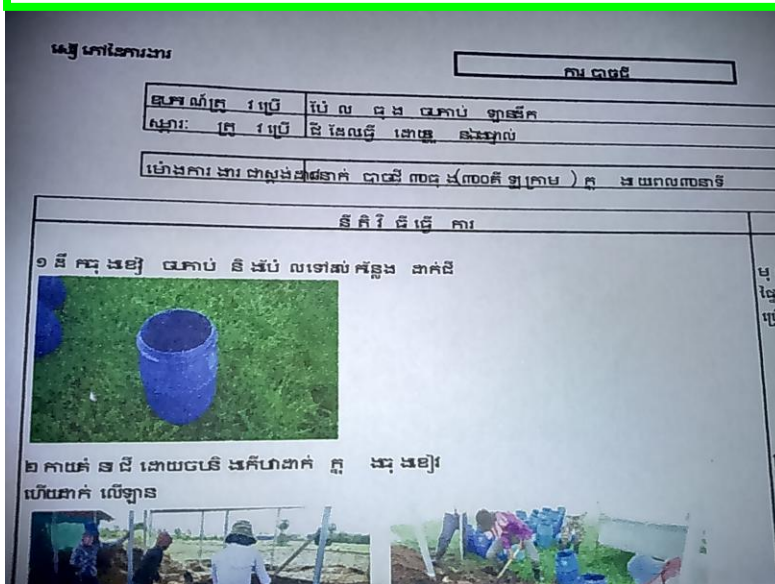
新契約農家さんのハイさん

◇新規契約農家さん

今年からレモングラスの契約栽培農家さんが 2 人増えました。名前はニエイさんとハイさんです。2 人とも農場リーダーのチャンダーさんの近所に住んでいます。SAJFarm の講習会にも何度も参加しており、昨年度もレモングラスの栽培に興味を持っておられました。今年新しく契約栽培を始める人を探したところ、真っ先にこの 2 人が手を上げてくれました。2 人の畑は家から近いので管理しやすく、レモングラスの生育にも適していました。早速 2 人に契約栽培をお願いし、今月の講習会でレモングラスの定植を行いました。来月新しい畑に緑のレモングラスの若葉が見られるのが楽しみです。

◇現地用マニュアル作成

現在 SAJFarm では現地用のレモングラスのマニュアルを作成しています。写真はクメール語翻訳した一部です。このマニュアルにはこれまで SAJFarm が蓄積した、レモングラスの栽培に関する情報が全て載っています。マニュアルを作る目的は、SAJFarm で働いているスタッフや契約栽培者の方が、それを見てレモングラスの栽培ができるようになるためです。現在は契約生産者も 4 名と少数ですが、将来的に更に多くの方にレモングラスの契約栽培を広めるために、後々重要になります。数年後に、多くの方がこのマニュアルを使ってレモングラスの栽培をしていることを願っています。



クメール語に翻訳したマニュアルの一部

◇シントウ、ホーリーバジル、ミニトマト播種

今月ミニトマト、シントウ、ホーリーバジルの種を播種しました。ミニトマトは昨年度雨が多く、根が腐ってしまい、あまり収穫できませんでした。今年は畝を立てて水はけを良くして栽培する予定です。シントウはアフリカ原産の暑さに強いナス科の植物です。今年から有機野菜としてプノンペンへ出荷する予定です。ホーリーバジルは昨年度新しい精油の原料候補として試験栽培しました。試験栽培の結果 SAJFarm の土と相性がよく、予測以上に大きく成長したので、引き続き作付面積を増やして栽培する予定です。この後には空芯菜の播種も控えています。8 月、9 月頃から徐々に野菜の収穫ができるので報告を楽しみにして下さい。



発芽したシントウの苗